

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年3月20日 (2014.3.20)

【公開番号】特開2014-4483(P2014-4483A)

【公開日】平成26年1月16日 (2014.1.16)

【年通号数】公開・登録公報2014-002

【出願番号】特願2013-212558(P2013-212558)

【国際特許分類】

A 6 1 B 19/00 (2006.01)

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 19/00 5 0 2

A 6 1 B 17/00

【手続補正書】

【提出日】平成26年1月31日 (2014.1.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユーザ操作可能なマスタコントローラと、

手術用器具を保持および操作するように適合されたマニプレータと、

異なった色の複数の可視信号を生成するように制御可能に活性化可能な複数の異なった有色要素を含むインディケータであって、前記インディケータは、前記マニプレータに隣接した人物により視覚可能なように配置される、インディケータと、

前記マスタコントローラのユーザ操作に応答して前記マニプレータの移動を制御することと、前記複数の異なった有色要素の組み合わせである色を含むように前記異なった色の複数の可視信号を生成するように前記複数の異なった有色要素の活性化を制御することとを実行するようにプログラムされたコンピュータプロセッサであって、前記複数の可視信号のうちの異なった可視信号は、前記マニプレータまたは前記手術用器具の異なった状態を示す、コンピュータプロセッサと

を備える、ロボット医療システム。

【請求項 2】

前記異なった色の複数の可視信号は、異なった強度の色を含む、請求項 1 に記載のロボット医療システム。

【請求項 3】

前記異なった色の複数の可視信号は、異なった照度レベルの色を含む、請求項 1 に記載のロボット医療システム。

【請求項 4】

前記異なった色の複数の可視信号は、異なった変調パターンを含む、請求項 1 に記載のロボット医療システム。

【請求項 5】

前記コンピュータプロセッサは、故障状態が検出されたことを示す色を生成するように前記インディケータの前記複数の異なった有色要素の活性化を制御するようにプログラムされる、請求項 1 に記載のロボット医療システム。

【請求項 6】

前記コンピュータプロセッサは、警告状態が検出されたことを示す色を生成するように前記インディケータの前記複数の異なった有色要素の活性化を制御するようにプログラムされる、請求項 1 に記載のロボット医療システム。

【請求項 7】

前記複数の異なった有色要素は、赤色発光ダイオード、緑色発光ダイオードおよび青色発光ダイオードを含む、請求項 1 に記載のロボット医療システム。

【請求項 8】

前記コンピュータプロセッサは、故障状態が検出されたことを示す第 1 の色を生成するように、および、警告状態が検出されたことを示す第 2 の色を生成するように前記インディケータの前記複数の異なった有色要素の活性化を制御するようにプログラムされる、請求項 1 に記載のロボット医療システム。

【請求項 9】

前記コンピュータプロセッサは、故障状態が検出されたことを示す第 1 の照度レベルで色を生成するように、および、警告状態が検出されたことを示す第 2 の照度レベルで色を生成するように前記インディケータの前記複数の異なった有色要素の活性化を制御するようにプログラムされる、請求項 1 に記載のロボット医療システム。

【請求項 10】

前記コンピュータプロセッサは、故障状態が検出されたことを示す第 1 の変調パターンで色を生成するように、および、警告状態が検出されたことを示す第 2 の変調パターンで色を生成するように前記インディケータの前記複数の異なった有色要素の活性化を制御するようにプログラムされる、請求項 1 に記載のロボット医療システム。

【請求項 11】

前記異なった状態は、前記手術用器具が前記マニプレータと互換性がないことを示す状態を含む、請求項 1 に記載のロボット医療システム。

【請求項 12】

前記コンピュータプロセッサは、前記マスタコントローラのユーザ操作に応答して前記複数の可視信号のうちの 1 つを生成するように前記インディケータの前記複数の異なった有色要素の活性化を制御するようにプログラムされる、請求項 1 に記載のロボット医療システム。